

「子ども110番の家」緊急時対応ポイント

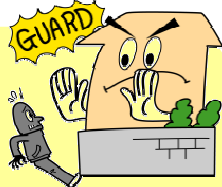
① 子どもが駆け込んできたら(避難してきたら)・・・



1

安全の確保

子どもを門内や玄関内に入れ、安全の確保をしてください。状況によっては、施錠等の処置をしてください。



2

自分が落ち着く

話を聞く側があわてたり、興奮したりしないようにまず自分が落ち着いて、子どもの話を聞いてあげてください。



3

子どもを落ち着かせる

助けを求めてきた子どもは興奮しています。

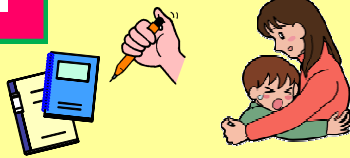
「もうだいじょうぶ！ 安心してね。」などと優しく声をかけてあげてください。

子どもと一緒に深呼吸をして子どもの気持ちを和らげてください。



4

子どもから話を聞く



無理のない範囲で聞いてください。

- ・ 静かな場所で聞く。(落ち着いた雰囲気の中で)
- ・ 椅子にかけさせるなどして、子どもと同じ目線にする。
- ・ 子どもの体調に気を配る。
「気分はだいじょうぶ？」
「けがをしていない？」

- ・ 子どもの判断の参考となるような具体的な例を挙げて尋ねる。
 - ・ 強い口調で話さない。
 - ・ 無理に答えを求めない。(わからないことを何でも尋ねない。
- ※ 緊急の場合は、110番通報をしながら話を聞くこともあります。

聞きとりの観点

5

110番通報する

「子ども110番の家」であること、自分の氏名、住所などを伝えてから、聞き取り内容を順序よく話してください。



6


関係機関へ連絡

状況に応じて救急車が必要な場合もすぐに連絡してください。警察や救急車が来るまでの間に、学校や保護者へ連絡をお願いします。



② 防犯ブザーの音や、子どもの助けを求める声が聞こえたら



大きな声で呼びかけ、  保護と通報を!



玄関先や窓、ベランダなどから、外の様子を確認してください。そして、どうしたの？ だいじょうぶ？」などと大声で呼びかけてください。

* あなたの一声が不審者の行動を制限し、被害を最小限に食い止める可能性があります。



子どもの保護を可能な限りでお願いします。状況に応じて110番通報とともに、子どもが在籍する学校、家にも連絡をお願いします。

* 不審者があなたに危害を加える可能性もあります。凶器を持っていることも考えられます。

あなた自身の安全について十分注意してください。無理に不審者に接近したり、取り押さえようとしたりせず、慎重に行動してください。

聞き取り 観 点



① 何があったか？

- ・連れ去り行為（腕を引っ張る、車に乗せようとする等）
- ・痴漢行為（体に触れる、抱きつく等）
- ・声かけ行為（遊びに行こうと言う、しつこく名前や住所などを聞く等）
- ・つきまとい行為（追いかける、立ちふさがる、後をついてくる等）
- ・その他（ ）

② いつのことか？

（ ）時（ ）分頃 [今から 分くらい前]

③ どこで？

場 所：（ ）

目標物： [目印となる建物や付近のお店の名前など]

（ ）

④ 不審者の特徴は？（可能な範囲で不審者の特徴を聞いてください。）

男？ 女？（ ）人 年齢（ ）歳くらい

身長（ ）cmくらい 体格（肥満 ふつう 痩せている）

その他の特徴（メガネ サングラス 髭 マスク その他 []）

乗り物関係（徒歩 自転車 オートバイ 車）

車のタイプ 色 ナンバー（ ）

逃げた方向（ ）

凶器（ナイフ カッター 包丁 鉄の棒 その他 []）

⑤ 子どもは？ 名前（ ）

電話（ ）住所（ ）

学校名（ ）男 女 小 中 高（ ）年